

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	第 2 回会議録
開 催 日 時	平成 24 年 3 月 19 日（月）14：00～15：30
開 催 場 所	尾西生涯学習センター 6 階 大ホール
出席委員氏名	岩田委員、岡西委員、尾関委員、倉兼委員、榊原委員、佐々木委員、渋谷委員、戸松委員、富山委員、日置委員、細谷委員、森委員、瀧委員 計 13 名
欠席委員氏名	岩満委員、松本委員 計 2 名
出席した市職員	事務局（部長）、企画部次長、企画政策課長、同副主監 1 名、同主査 1 名、同主任 1 名、同主事 1 名、保育課副主監、子育て支援課副主監、学校教育課長、生涯学習課副主監、働く婦人の家館長、経済振興課副主監 計 13 名
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民憲章唱和 2. あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> ①第 2 次一宮市男女共同参画推進状況(24 年度推進計画)について 4. その他
会 議 内 容	
事務局（企画政策課長）	（資料の確認）
企画部次長	<u>市民憲章唱和</u> （市民憲章唱和）
事務局（課長）	（防犯一口広報・交通安全一口広報紹介）
佐々木会長	<u>あいさつ</u> 第 2 次一宮市男女共同参画推進計画が平成 23 年度にスタートいたしました。施行されて 1 年になろうとしておりますけれども、本日は計画の状況等につきまして、委員の皆さまからいろいろな意見をいただきたいと思います。
事務局（事務	本日は 24 年度の計画につきまして、ご審議いただきたいと思いま

局（部長）	す。
事務局（課長）	<p>新委員のご紹介をさせていただきます。新しく委員になりました方は、ナンバー13、愛知県男女共同参画社会支援セミナー修了生、富山弘美（とみやまひろみ）様です。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、次第の3に移らせていただきます。ここからの進行は、会長の佐々木先生におねがいします。</p>
佐々木会長	<p>それでは、3の議題に入らせていただきます。お手元の次第にございますように、①第2次男女共同参画計画推進状況（24年度推進計画）についてですけれども、目標2つごとに、3つに分けて、進めさせていただきますしたいと思います。それでは、事務局より説明願ひします。</p>
事務局（主事）	<平成24年度推進計画について資料に基づき説明（目標Ⅰ、Ⅱ）>
生涯学習課	<p>いちのみや女性をつどいの廃止について説明いたします。このつどいは、昭和52年に「いちのみや婦人をつどい」として始まり、平成8年に「いちのみや女性をつどい」と改称しました。男女共同参画意識の普及と、各世代の女性の互いの交流、女性の学習機会の提供、社会活動への参画を目的としてまいりました。</p> <p>平成23年度に第35回の開催を終え、女性の社会参画の促進、エンパワーメントへの支援という当初の目標は達成できました。また、生涯学習課には同規模・同予算額の講演会、「中央公民館講演会、文化講演会」と類似の事業を行っており、予算面からも事業の廃止を決定いたしました。</p> <p>一方、男女共同参画を進めてきた事業である「女性をつどい」に代わるものとして、現在、一宮市地域女性団体連絡協議会、一宮市女性グループ連絡会がそれぞれ団体内で開催しております小規模な講演会を、市との共催にし、予算面を含めて規模の拡大を図り、市広報などで広く一般女性も講演会への参加を募集し、代わるものとして考えています。</p>
佐々木会長	事務局から説明がありました。ご質問があればどうぞ。
富山委員	5ページ目、「教員に対する男女共同参画意識の向上」に関してですけれども、具体的にはどのようなことをしているのですか。

<p>学校教育課</p>	<p>校長会議や教頭会議の場において、指導主事などミドルリーダーを男女の差なく選出するよう指導を行っています。一般教員から生徒に対しても、道徳、特別活動において、男女共同参画の項目がありますので、それにもとづいて指導をしております。</p>
<p>日置委員</p>	<p>公立小中学校の教員における女性管理職の割合や、市職員における女性管理職の割合についての目標値は、現状値を鑑みると、低いように見えます。もっと目標値を上げてほしいと思います。</p>
<p>細谷委員</p>	<p>町会長の女性比率について、女性比率を上げるよう、何か働きかけをしているのですか？</p>
<p>事務局（部長）</p>	<p>新計画からできた指標であるが、今は特に働きかけをしていないので、今後地域ふれあい課と協議して女性町会長を増やす働きかけをしていきたいと考えています。</p>
<p>細谷委員</p>	<p>市が働きかけて、任意団体・地縁団体である町会長に女性が増えるのかどうか疑問であるが。そういうものが指標として適切でしょうか。</p>
<p>事務局（部長）</p>	<p>市の強制ではないが、地域における男女共同参画意識の普及は必要であると考え、町会長会など呼びかけられるところでは呼びかけていくつもりです。</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>公共調達における男女共同参画に関する評価項目の導入ですが、こういった形は、企業が男女共同参画を深めるという意味で意義があることですので、進めていただければと思います。</p>
<p>富山委員</p>	<p>公共調達における男女共同参画に関する評価項目は具体的にどのような制度なのでしょうか。</p>
<p>事務局（副主監）</p>	<p>企業が入札時に、育児休業制度があるとか、ファミリーフレンドリー企業であるとかそういう男女共同参画に関する項目を設け、入札参加条件にするというわけです。</p>

日置委員	<p>こういった総合評価落札方式で、落札する時だけ、またはファミリーフレンドリー企業の認定は一定期間有効であるそうで、その認定を受けるときだけ、女性管理職を増やすであるとか、そのあとはなおざりになるという企業もいると聞いたことがあるので、落札の方は難しいかと思えますけれども、認証したら、行政の方でも追跡をすとかそういうことが必要だと思えます。</p>
事務局（副主監）	<p>契約課の方には伝えておきます。</p>
富山委員	<p>周知ポスターの件ですが、ポスターの掲示が1箇所と言うのは、少ないと思います。市独自でもう少し増やした方がいいと思います。</p>
事務局（主事）	<p><平成24年度推進計画について資料に基づき説明（目標Ⅲ、Ⅳ）></p> <p>（事業所向け男女共同参画出前講座について岩田委員に感想をいただく）</p>
岩田委員	<p>出前講座のご紹介をいただき、ワークライフバランスについての研修会を行いました。正直なところ、仕事と家庭をバランスよく両立させるのは難しいというのが受講前の感覚でありました。しかしこの出前講座を受講し、自分の親が高齢になったり、妻が倒れたり、また同僚が、上司が、突如会社に来られなくなったりという状況があることに改めて気づかされまして、仕事でも家庭でもいろいろな準備をしておかなければならないと勉強しました。</p> <p>商品開発室では管理栄養士の出産、育休が続いております。続けようか退職しようか悩んでいるようです。なるべく続けるよう勧めています。</p> <p>聴講の前後では意識も変わり、状況の変化に対する準備が必要だと感じ、有意義な研修が開催できてよかったです。</p>
佐々木会長	<p>ここままで、ご質問などありますか。</p>
倉兼委員	<p>前に、教員・職員の管理職登用話がありましたが、登用率を上げるためには、ワークライフバランスの観点から、今現在のリーダーがどのように両立させながら働いているかという見本を、後進に見</p>

	せられるかが重要だと感じています。
渋谷委員	この事業所向け男女共同参画出前講座は、労働組合も対象としてアプローチしていますか？
事務局（主任）	事業者の方だけでなく、労働組合も対象としておりますが、事業者と共催という形でお願いしています。
富山委員	こういった事業所向け出前講座ですが、企画政策課だけでなく経済振興課などからも、企業へ向けて広範囲へのPRが必要だと思います。
岡西委員	地域活動が衰えていっています。町内会や子ども会、PTAでも、加入しなかったり、役員になった1年だけ仕方なくやるといった状況になっています。地域のきずながどんどん薄くなっていると感じます。 そんな中で、出前一聴は男女共同参画の意識をもっと地域に伝えて意識改革をしていってほしいと思います。
瀧委員	私も子育てをしながら仕事をしています。仕事で経営者の方にお会いすることも多いが、やはり経営者の方はお忙しい。その中でこのような事業所向け出前講座に興味を持ってもらうには、経営者の心に響くようなPRが必要だと思います
事務局（課長）	事業所向け出前講座は、新計画から始まった初めての試みでしたが、好評でした。PRに関していろいろなご意見をいただきましたので、可能なかぎり取り入れながら、進めていきたいと思っています。
細谷委員	たとえば、推進計画にあります「地域における活動団体への支援」のあたりで、地域ふれあい課の市民活動支援のことが載っています。男女共同参画に関係しなくても、各課で行っている事業を、この24年度推進計画に掲載しているのでしょうか。男女共同参画を進めていく事業を、より精度を絞り込んで掲載したほうがよいように思います。
事務局（部長）	計画を作る段階で、男性中心の活動の中で地域での男女差別が残

	<p>っているのではないかとということで、計画の72ページになりますが、一宮市市民活動情報サイトの運営におきましても、「男女共同参画に関わる活動を含む市民活動にかかる情報収集、情報交流の場を提供するためサイトを運営します。」ということを目標に掲げております。推進計画においては、「サイトのアクセス数」と上がっておりますけれど、あくまでも目標としては男女共同参画に関係した内容の活動をしていくということです。推進計画だけ個別で見ると男女共同参画に関係しているのか内容が分かりにくいですが、計画全体を見ていただきますと、いろいろなところで男女共同参画を推進していくのには非常に重要であると、ご理解いただきたいと考えます。</p>
事務局（課長）	<p>今回この推進計画は事業の説明として作りましたけれど、その中で男女共同参画の視点は何かということ、表示の仕方をもう少し工夫した見せ方になるよう考えます。</p>
渋谷委員	<p>他都市でも同様の意見が出ますので、経験として話させていただきます。地域ふれあい課に「男女共同参画の視点で進めてください」というだけでは言葉は届かないですが、たとえば事業を担当課からどのような状況であるか聞くことによって、実施している課が男女共同参画を意識するようになります。男女共同参画を全庁的に進めていくためには必要なことではないかと思えます。</p>
事務局（主事）	<p><平成24年度計画について資料に基づき説明（目標V、VI）></p>
富山委員	<p>ウィルあいちで初めてみたのですが、トイレに名刺大のDVのチラシが置いてありました。それは市庁舎でも見ました。私はもう少し広く広報したほうが、DVで困っている人に届くのではないかと思います。DVは、児童虐待ともかかわりが深いと思いますので、こちらも広く知らせていく必要があると思います。</p>
日置委員	<p>ここに載っています女性相談291件のうち、DVの相談はどれくらいありますか？</p>
子育て支援課	<p>291件は平成22年度の数字ですが、この中でDVの相談は、83件でした。</p>

岩田委員	母子・父子家庭、母子寡婦家庭、ひとり親家庭と出てくるのですが、名称についてはどう使い分けているのでしょうか？
子育て支援課	母子家庭、父子家庭を総称して、ひとり親家庭としております。この中で、母子・父子家庭を対象にしている事業は「ひとり親家庭」とし、母子家庭のみ対象の事業は「母子家庭」と使っております。
日置委員	DV支援のワンストップ化はどの程度まで考えていますか？
子育て支援課	DV被害者は心身ともに長期間疲弊していることが多いです。それぞれの窓口で支援を申請するために、何度もDV被害の苦痛を話さなくてはならないという事態を避けるため、一枚のシートを作り被害状況を記載してもらいまして、各課ではそれを確認することで、被害者に何度も説明させるという苦痛を減らすことを目標としています。
渋谷委員	防災や災害復興に女性の視点を入れるよう進められているところですが、一宮市はどのようになっていますか。
事務局（課長）	<p>防災会議については、あて職の関係で、現在は女性委員がいません。防災関係は危機管理室が担当しているので今後の動向については確認します。</p> <p>避難所等での女性の視点も重要なものと考えています。企画政策課でも講座で取り上げるなどして啓発していきます。避難所での女性のための器具ですとか、危機管理室のほうでも対応していくと思えます。</p>
細谷委員	補足です。企画総務委員会で審議したことですが、避難所に置くための高さのある間仕切りを H24 予算で 100 機購入する予定です。今までは低い間仕切りでしたが、この間仕切りは人目を遮り、女性の着替えなどに使えます。
佐々木会長	一通り審議も終わりましたので、事務局へお返しします。
事務局（課長）	次回の懇話会は、7月を予定しております。本日はこれで閉会とさ

	せていただきます。ありがとうございました。
--	-----------------------

	会議終了 (15 : 30)
--	----------------